

消防防災用設備機器性能評価シート

1/3

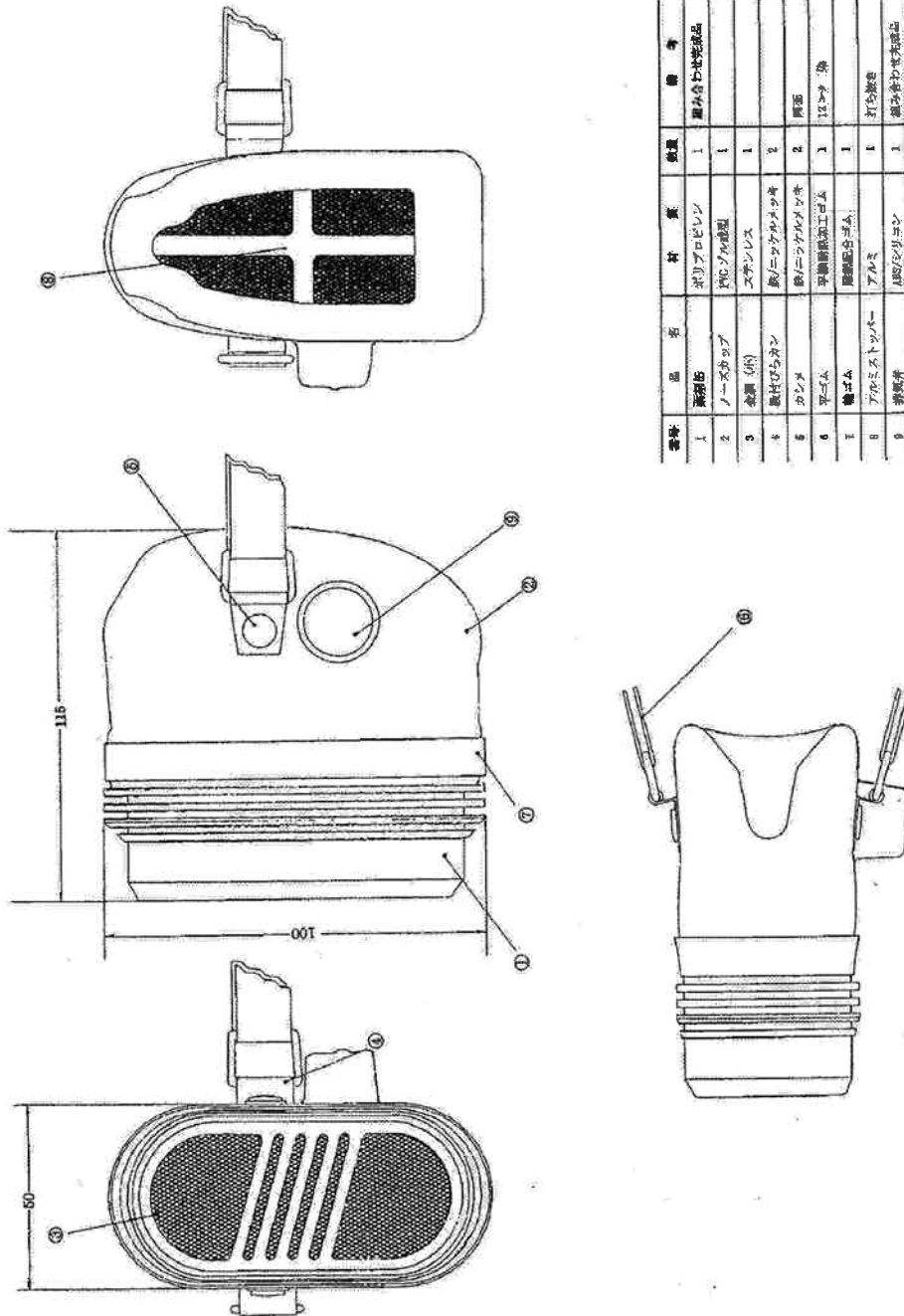
品名	避難設備 (簡易防煙マスク等)	申請者	株式会社レスキュープラス
		型式記号	R P I - I 型
評定番号	評 1 9 - 0 5 7 号	性能評定日	平成 1 9 年 1 2 月 2 1 日
設備機器の性能	火災避難用保護具等に関する基準等について (昭和 55 年消防予第 248 号) 別添「火災避難用保護具等の試験方法及び判断基準」第 4 に適合するものと認められる。		
設置・維持の方法	<p>1 評定条件</p> <p>(1) 酸素が欠乏するおそれがある場所、有毒ガスが限界を超えて存在するおそれがある場所等においては、使用しないこと。</p> <p>(2) 火災時の避難以外には使用しないこと。</p> <p>(3) 取扱い説明書には、使用上の注意事項、使用方法、点検・整備方法、保管方法及び廃棄方法等を記載すること。</p> <p>2 表示</p> <p>保護具の包装材料の表面に次の表示をすること。</p> <p>製造者名、保護具の種類、防護係数、公称使用時間、目に対する保護の有無、熱に対する防護部位、熱気流に対する保護の有無、放射熱に対する防護の有無、炎に対する保護の有無、着用の難易度、取扱い方法又は注意事項、製造年月、型式記号、評定番号及び財団法人日本消防設備安全センターの評定品である旨</p>		
設備機器の概要	本製品は、薬剤缶、ノーズカップ等で構成する簡易マスクによる火災避難用保護具で、形状、構造等は別図による。		
試験の概要	試験項目	試験の内容	
	外観、材質、形状、表示試験 防護係数試験	試験試料と申請図書とを照合し、試験試料が申請値を満足することを確認 10 人の被試験者に供試防煙マスク等を着用させ、塩化ナトリウムエアゾールを含む空気中において【条件：塩化ナトリウムエアゾール (CMD0.2 μm)、吸引量 (1 ℓ/min)、呼吸パターン (3 秒吸気 3 秒排気の繰返し)】空気中の塩化ナトリウム濃度と吸入時の防煙マスク死積内の塩化ナトリウム濃度を散乱式光量積算式測定器で測定し、次式によりもれ率 7 % 未満及び防護係数 5 以上であることを確認 (1) もれ率 $\varrho = \frac{C_0}{C_i} \times 100 \quad (\%)$ <p style="margin-left: 20px;"> ϱ : もれ率 (%) C₀ : 吸入時の死積内の塩化ナトリウム濃度 (mg/m³) C_i : 試験空気中の塩化ナトリウム濃度 (mg/m³) </p> (2) 防護係数 もれ率と「防煙試験」により得た除毒効率から次式により防護係数を求める	

消防防災用設備機器性能評定シート

2/3

	$PF = \frac{100^2}{100^2 - 100 \varepsilon + \varepsilon \ell}$
防煙試験	<p>(1) 集煙箱 (2 m³) に木材のくん焼煙及び一酸化炭素を入れ、入力側煙濃度計内の煙の減光係数を 0.7±0.1/m及び一酸化炭素濃度を 2500±250ppm に調整する。この煙を 30ℓ/min の通気量で供試防煙マスク等を通し、煙濃度、一酸化炭素濃度及び通気抵抗を測定し、煙濃度 0.1/m以下、一酸化炭素濃度 350 ppm 以下及び通気抵抗値 50 mm Aq 以下である連続時間が 20 分で、かつ、次式により得た一酸化炭素の除毒効率が 86%以上であることを確認</p> $\varepsilon = \frac{Co - Ci}{Co} \times 100 (\%)$ <p>ε : 一酸化炭素の除毒効率 Co : 防煙マスク等通過前の一酸化炭素濃度 (ppm) Ci : 防煙マスク等通過後の一酸化炭素濃度 (ppm)</p> <p>(2) 一酸化炭素濃度 2500±250ppm の発泡スチロール着火煙を用い、前(1)と同様の試験を行い、同様の結果であることを確認</p>
着用試験	<p>次の着用試験を行う</p> <p>(1) 10名の被試験者に供試保護具の使用方法を説明しないで1回着用させ、正しく着用したの者及び誤った着用をした者のそれぞれの所要時間を測定する</p> <p>(2) 10名の被試験者に供試保護具の使用方法を説明し、前(1)と同じ試験を行う</p> <p>(3) 前(2)の試験を連続して9回行う</p> <p>その結果から次の事項を確認し装着上支障ないことを確認</p> <p>ア 前(1)の試験において、正しく着用した者の割合</p> <p>イ 前(1)の試験において、誤った着用をした者のうち前(2)の試験において正しく着用した者の割合</p> <p>ウ 前(1)の試験において、正しく着用した者の着用所要時分の平均値</p> <p>エ 前(2)および(3)の試験において、正しく着用した者の数と全着用試験回数の割合</p> <p>オ 前(1)、(2)及び(3)の全着用試験に要した時間平均を求め、第2回目、第6回目及び第11回目の平均値の傾向</p>

写真 1



番号	品名	材質	数量	備考
1	前面部	ポリプロピレン	1	難燃性有機絶縁品
2	ノーズカップ	PC/PA成型	1	
3	金網 (内)	ステンレス	1	
4	金網 (外)	鉄/ニッケルメッキ	2	
5	カラダ	鉄/ニッケルメッキ	2	両面
6	平ゴム	平織黒鉛加工ゴム	1	12×9、熱
7	輪ゴム	黒輪ゴム	1	打合線用
8	アクリルストリップ	アルミ	1	打合線用
9	調整弁	ABS/シリコン	1	難燃性有機絶縁品

図番	001	名称	耐熱防煙マスク	マスク型	作成日	H18.6.01
----	-----	----	---------	------	-----	----------